

平成23年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 平成23年8月10日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午後 0時40分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 佐藤 昭
同職務代理 面田 博子
委員 松本 實
委員 遠藤 勝男
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	坂田 祐次
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	小曾根 豊
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	今關総一郎	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・副 参 事	濱田 茂男
・中央図書館長	梅田 義郎		

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 佐藤 昭 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 佐藤 昭 委員 面田 博子 委員 山崎 喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 ただいまから、平成23年教育委員会第8回定例会を開会いたします。

議事に入る前に2点お諮りしたいことがございます。

まず、本日55人の傍聴の申し出がありました。葛飾区教育委員会傍聴規則第4条の規定により、傍聴人の定員は10人となっておりますが、会場スペースを考慮し、抽選をした上で、20人までの傍聴を許可したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 それでは、傍聴を許可することといたします。

次に、本日の議案第43号の教科用図書の採択に関連して、複数の要請書等が送付されております。これらの要請書等については既に教育委員に開示されているところであります。表題は「要請」「陳情」などさまざまですが、これらは各教育委員が教科用図書を推薦する際の参考として取り扱いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 それでは、そのように決定いたします。

では、傍聴人の入室を許可することといたします。事務局、傍聴人を呼んでください。

(傍聴人入室)

○委員長 おはようございます。

委員長から傍聴人に申し上げます。

葛飾区教育委員会傍聴規則等の規定により、傍聴人は次の事項を守ってください。

1、傍聴人は、委員会の中では発言できません。
2、傍聴人は、静粛を旨とし、委員の言論に対して拍手など賛否をあらわすようなことはおやめください。

3、傍聴人は、写真撮影、録画、録音は行わないでください。

なお、携帯電話の電源はお切りください。

4、傍聴人は、その他、会議の妨げとなるような行為はしないでください。

なお、傍聴人にこれらの規則等に反する行為があった場合は退席していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事日程に入ります。

議案第43号「平成24年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

指導室長。

○指導室長 議案第43号「平成24年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、ご説明いたします。

これまで報告させていただきましたように、今年度は新学習指導要領に基づき、平成24年度に使用する中学校教科用図書についての採択替えの年に当たります。教育委員会第7回定例会におきまして中学校教科用図書検討委員会からの報告を受けており、さらに教育委員の皆様方にはそれぞれ教科用図書の調査研究をしてこられました。本日はよろしくご審議をお願いいたします。

また、小学校では、平成24年度も引き続き同一の教科用図書を使用することになっております。それから、特別支援学級で使用する附則第9条教科用図書につきましては、前回の教育委員会で別紙一覧のとおりご報告したところでございますが、今回採択いただきたいと思っております。ご審議のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。

教育委員会第7回定例会で平成24年度中学校教科用図書についての検討委員会からの報告を受けました。また、第8回臨時会においては、平成24年度使用附則第9条教科用図書について検討経過の報告を受けております。本日、中学校の教科用図書については、各委員がこれまでに研究してきたことを踏まえまして、各教科種目順に個別の採択審議といたします。また、小学校教科用図書及び区立小・中学校特別支援学級で使用する附則第9条の教科用図書については、一覧表での採択審議といたしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

まず、平成24年度使用中学校教科用図書について審議を行います。

それでは、中学校国語の審議に入ります。ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、国語の目標は、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる」とあります。特に「国語を尊重する態度を育てる」という点からしますと、毎度申し上げておりますけれども、教育出版の教科書のメインの題名が「伝え合う言葉」になっており、残念な気持ちがします。藤原正彦さんの著書に『祖国とは国語』という本がありましたが、国語は言うまでもなく、国家を形成する人々が自国語として使用する言語であります。その教育を通じて、日本の文化や伝統、情緒までも含めて理解していく大切な教科で、国語教育と言語教育では意味合いが違うように思います。学習指導要領の上でも、「国語」という名称の教科書ですので、「国語」という題名をメインに使ってほしかったと思います。

今回の教科書は、国語に限らず、どの会社の教科書も改善されて大変よくできておりまして、ほとんど差がないように思いました。本区では、「葛飾区教育振興ビジョン」を推進しておりますけれども、国語の関連では、読書活動の充実や漢字検定への挑戦が示されておりますので、これらが進めやすいのはどれかという視点をメインにいたしました。

読書活動では、三省堂は「読書ガイド」や「私の本棚」で図書の紹介をしており、各学年50冊ほどを紹介しています。他社の教科書でも「読書案内」などで図書の紹介をしていますが、三省堂が紹介冊数が最も多く、充実しているように思います。

また、漢字に関しては、学校図書の「漢字のコラム」や光村図書の「漢字を確認しよう」など、それぞれが工夫していますが、三省堂は、「漢字を使いこなそう」が随所に出てきますし、また、巻末の「言葉のレッスン」においても、「漢字を身につけよう」を設けて漢字に多くのページを割いています。

題材では、太宰治の『走れメロス』が各社とも共通して2年の教科書に載っていますが、それらをページごとに比較してみますと、東京書籍と三省堂は挿絵が4カ所出てきてわかりやすい絵が描かれていますが、学校図書は挿絵がありません。

また、読む教材では、学校図書、光村図書は、文学的文章を多く取り上げ、三省堂は詩歌を多く取り上げるなど、いずれもすぐれた題材を取り上げています。しかし、学校図書は、サイズがA5判で、他社のB5判よりも小さく、何となく見劣りがするような印象がします。本編と資料編から構成されているところが多いのですが、三省堂は資料編が「学びを広げる」という題名で別冊になっています。言語文化、情報活用、事典の3部構成をとり、かなり充実しており、活用次第では教科指導の充実ができると思われました。

また、三省堂は全体的に写真や挿絵の色使いのバランスがよく、見やすく編集されています。

このようなことから、私は三省堂を推薦します。

○委員長 松本委員。

○松本委員 光村図書は、長く親しまれた教材や現代を代表する作家の作品が幅広い分野から多様な文種で取り入れてあり、全体としてバランスよく、教材が豊富なことがよいと思います。また、各言語教材に学習事項を日常生活やほかの領域に生かすためのポイントが示されており、言語活動の充実に工夫している点がよいと思います。

次に、「葛飾区教育振興ビジョン」に掲げている読書活動の充実や漢字検定への挑戦を進めやすいのはどれかについて検討しました。光村図書は、読書活動では「広がる読書」「読書案内」「本との出会い」のページにおいて豊富な図書を掲載しており、巻末に、100冊のうち3年間で何冊読んだか確認できるようになっていて活用できると思います。漢字の検定への取り組みでは、教材の直後にある「漢字を確認しよう」や「漢字に親しもう」で漢字を練習する場を設け、確実な定着を目指す工夫があり、使いやすいと思います。

以上のことから、私は、光村図書出版を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 学習指導要領の改訂のポイントとして、国語をはじめ、各教科等でさまざまな言語活動を充実することが挙げられています。そのためには、国語の授業において言語活動を多

く取り入れ、発達段階に応じた言葉の力を確実に身につけていくことが大事だと思います。

東京書籍は、「学びを支える言葉の力」として、「実用的な言葉の力」「論理的な言葉の力」「創造的な言葉の力」という形で掲載されています。このことは、基礎・基本の言葉の力を育てると思います。

教育出版は、「読むこと」の教材の初めには、必ず目標とするところが書かれています。また、作品の後ろには、「みちしるべ」として学習の手引きがあります。「確かめよう」から「考えよう」、そして「ここが大事!」と進んでいくことで、基礎から発展へと学習が進められます。また、「考え、感想を発表しよう」「話し合おう」「文章にまとめよう」など、対話を大切にした言語活動が多くあり、コミュニケーション能力の育成にもつながると思います。改訂のポイントの一つである伝統や文化に関する教育の充実では、5社とも古典に関する学習が充実しています。その中でも、教育出版は、伝統文化と言語を目的とした教材のほかに、読むことを目的とした教材の中にも伝統文化にかかわる教材があり、充実しております。また、「葛飾区教育振興ビジョン」における読書活動の充実との関連ですが、「読んでみよう」のコーナーで、学習に関連した図書を紹介しています。また、巻末の「データベースコラム」は各学年の学習段階に適した図書を短い紹介文つきで紹介しています。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 すべての教科において言語活動が重視されるようになり、その大もとが国語であると考えます。つまり、コミュニケーションの基礎を学習するわけです。さらに、国語では、生涯にわたり読書をする習慣を身につける機会としてほしいと考えます。それにはたくさんのすぐれた作品が掲載されていることが大事であります。国語では、各社とも大変充実していると考えます。

教育出版におきましては、本編が「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統文化と言語」となっており、付録との二部構成になっております。また、どの会社におきましても、1年生において『韓非子』の『矛盾』を扱っておりますが、その扱いはさまざまです。教育出版は、生徒にとって難しい漢文を平仮名と漢字まじりの文章表記にした上で、言葉の意味をわかりやすくするために、言葉と言葉の間にスペースを設けております。この点において、1年生でもわかりやすく漢文指導ができると思われました。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 国語という教科に何を求められているかということを観点として、また、「葛飾区教育振興ビジョン」に適しているかを重点に検討してまいりました。私は、教育出版と光村図書とで大変迷いました。

教育出版は、各学年、「読み比べ」「構成と表現」という単元があり、そこでは二つの教材が用意されております。そして、この後に関連した作品が「読んでみよう」として紹介されています。学習の手引きや、中学校の教科書では「みちしるべ」として学習の進め方を基礎から発展へと丁寧に紹介しています。「ここが大事」では、重要ポイントを確実に身につけられる工夫がされています。

光村図書は、発展的な内容で、子どもたちの興味がわく内容が多く扱われています。最近、テレビ等で活躍されている池上彰氏による『メディアと上手に付き合うために』という教材が扱われております。3月11日に東日本大震災が起こった後なので、災害についてやテレビ報道に関する内容があり、興味がわく内容になっています。また、「読むこと」の教材には、学習の目標や手引きなど、次の学習につなげるためのチェック欄があります。

このようなことから、2社の教科書を検討したのですが、最終的に私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

東京都の調査研究資料と葛飾区の検討委員会の調査結果を踏まえて各社それぞれの項目を見ると、ページ数、内容ともに三省堂が群を抜いています。しかし、「聞く」「話す」「書く」「読む」などの基礎・基本において、領域区分別の単元数、特に古典などの割合は逆に一番少ないなど、ばらつきが見られます。各社を比べてみて、思考力、判断力、表現力をはぐくむために、説明的な文章を題材として多く取り上げているのが教育出版であります。「読むこと」の教材の初めには、必ず目標とするところが記されています。また、作品の後には「みちしるべ」として学習の手引きがあります。「確かめよう」から「考えよう」、そして「ここが大事」と進んでいくことで、基礎から発展へと学習が進められるようになっています。

「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統文化と言語」のように、領域ごとに教材をまとめた大きな単元を構成し、かつ、単元ごとに色分けされていてわかりやすくしています。巻頭の折り込みに各領域教材の学習のねらいがまとめられており、裏面には学習記録シートがついています。

以上の理由から、私は教育出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、教育出版が4人、三省堂が1人、光村図書出版が1人となり、教育出版がよいとする意見が多数となりましたので、中学校国語は教育出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校国語は教育出版を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校国語・書写の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、書写に関する指導事項として、「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」とあります。パソコンが普及する今日、文字を正しく覚えて書くということがますます重要になっていると考えます。また、日本語の文字の多様性や美しさを学ぶことも大切なことだと思います。

まず、6社の教科書で、書初め用の見本が現物大の袋とじで入っていないのが大日本図書だけで、他の5社はそれぞれ入っています。日本の文字文化については、東京書籍は「身近にある文字を調べよう」「効果的に書こう」で、立て看板やポスターについて、三省堂は「文字の使い方を工夫しよう」などで、本の帯や感謝状について。教育出版は「身のまわりの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう」で、伝票、往復はがき、エアメールなどについて。光村図書は「身の回りの文字を調べよう」などで、看板、絵手紙、本の帯、アルバムなど、いろいろな文字の書き方を取り扱っています。また、光村図書は筆順、字形、運筆がわかりやすく、手本を見ながら整った文字を書くという視点からしますと使いやすいように思います。

以上の点から、私は光村図書出版を推薦します。

○**委員長** 面田委員。

○**面田委員** 書写は、硬筆にしても、毛筆にしても、活字とは異なり、書いた文字の書体も含め、日本文化だと思います。限られた少ない時間の中で指導するわけですが、硬筆、毛筆の基礎・基本技能を確実に習得できる流れになっているかどうか。また、習得した技能を学校生活や社会生活で活用できるようになっているかの二つの視点で見ました。

学校図書は、硬筆教材の書き込みスペースがあります。手本のすぐ近くに書き込むことで、字形をまねたり、比較したりすることができます。「いろいろな学習に生かそう」という単元が設けられ、教科や総合的な学習の時間との関連、色紙、手紙、寄せ書きの書き方など、生活に広げる活動が紹介されています。

教育出版は、学習の進め方が、「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」と示されています。そして、「試し書き」から「考えよう」「まとめ書き」へと順を追って進めるようになっており、さらに「振り返ろう」において自己評価をするようになっています。このように、授業の流れをわかりやすく掲載し、生徒が学習しやすいと思います。また、どの学年でも、「目的や必要に応じて書こう」という単元において、年賀状、手紙、ポスター、新聞、小包の伝票、エアメールなど、目的や必要に応じたさまざまな書く場面があります。

以上のことから、私は教育出版を推薦します。

○**委員長** 松本委員。

○**松本委員** 1冊にまとめている会社と2冊の会社がありますが、限られた時間の中で学習内容を定着させるためには、3年間の学習を見通したり、前の学年の既習事項を振り返ったり、どの学年でも必要に応じて資料が活用できたりするので、1冊にまとめているほうがよいと考えました。

その中で、光村図書は、1年、2年、3年の区分けが、色を使い、明確に分けてある点や、巻頭で漫画を用いて3年間の学習の見通しを示している点がよいと思います。さらに、巻末に、小学校と中学校で学習した漢字と常用漢字に追加された漢字が楷書と行書で掲載されている点と、学校生活や社会生活に活用できる題材、資料が掲載されている点がよいと思います。

以上のことから、私は、光村図書出版を推薦します。

○**委員長** 秋本委員。

○**秋本委員** 最近では、パソコンが普及し、自分で文字を書くことが少なくなってきました。そういった中で、書写は書くことの大事な時間であると考えます。

教育出版は、1年の巻頭に、「目的に合わせて書こう」において、書く目的、だれに向けて、どのように、何を使って書くのかが示されており、さらにどんな力が身につくのかについても示されています。また、写真がきれいで、漢字・仮名まじりの教材が多く、日常生活に生かせると思います。

以上の理由から、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** ICTが普及した現在、生徒たちが自分で文字を書くことが大分少なくなっているように思います。東京書籍においては、自分の名前を行書で書く練習など、日常生活に生かしていける教材が多くあること、毛筆と硬筆のバランスがよいこと、コラムが充実していることが挙げられます。

以上の理由から、私は東京書籍を推薦いたします。

○**委員長** それでは、委員長のほうから申し上げます。

まず、1年から3年までの内容を1冊とするか、分冊とするかを考えました。結果、書写の場合は、1冊のほうが3年間の書写学習の見通しを持つことができ、必要に応じて既習事項の確認を行うことができるので、書写力を着実に身につけられると思いました。光村図書においては、3年間を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」「広めよう」に分け、基礎・基本の習得、身につけた書写力の活用、総合的な探究活動という学習の流れが目で見えるように構成されています。巻末の手紙の書き方、封筒の書き方、ノートまとめ方など、将来的に役に立つことが多く、とてもよいと思います。

以上の理由から、私は光村図書出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、光村図書出版が3人、教育出版が2人、東京書籍が1

人となり、光村図書出版がよいとする意見が多数となりましたので、中学校国語・書写は光村図書出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** 異議なしとのことですので、中学校国語・書写は光村図書出版を採択することに決定いたします。

それでは、中学校社会・地理的分野の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、地理的分野の目標の1番目に、「日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う」とあります。

東京書籍は、「地理にアクセス」で興味のわく知識の習得を、「地理スキル・アップ」でグラフ、地図の読み方など学習の手助けや学習方法を提示しています。

教育出版は、発展学習ができるように、みずから考えさせる「トライ！」や発展のページとして「地理の窓」が設けられており、発展学習に向いているように思います。

帝国書院も、「さらに深めよう」や「あなたならどうする？」が調べ学習に向いていると思います。

日本文教出版は、「でかけよう！施設見学」で内容を深める施設をホームページのアドレスつきで紹介しており、「地理ズームイン」で発展学習に対応できるようにしています。

全体的な印象からしますと、教育出版は地味なつくりの印象で、日本文教出版は鮮やかな写真が多く掲載されており、東京書籍は、A B版のサイズを生かして、写真が大きく、きれいでビジュアルなデザインが特徴的であると思います。

以上のことを総合的に見て、私は東京書籍を推薦します。

○**委員長** 秋本委員。

○**秋本委員** 教育出版は、生徒が意欲的に学習できるように、学習に関連する話題を紹介する「地理の窓」が随所に盛り込まれています。また、地図の活用については、折り込み教材として、世界の地形地図や夜間地図など、生徒が興味を持って活用できるようになっています。毎時間の学習の終わりに「トライ！」が設けられ、学んだ学習内容を確認できるとともに、発展的内容も盛り込まれていることから、生徒が学習の理解を深めることができます。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** 松本委員。

○**松本委員** 地理の学習では、写真、地図、グラフなどの資料が生徒の興味・関心を喚起させ

る重要な役割を果たしていると思います。その点、どの教科書も工夫がしてありましたが、帝国書院は、地域的な特色を理解し、考察させるために、人の営みが伝わる写真が多く、資料も豊富で、本文中に資料との関連がわかるように資料番号がつけてあり、わかりやすいと思います。

また、帝国書院は「技能をみがく」コーナーがあり、グラフのつくり方や地図帳の活用など、地理で重要な技能を培い、思考力、判断力、表現力の育成を図っている点、世界の諸地域と日本の諸地域の単元の各節末に環境問題や資源・エネルギー問題などを取り上げ、持続可能な社会の形成に向けた取り組みを掲載している点がよいと思います。世界のさまざまな地域の調査では、隣の国の韓国を、身近な地域の調査では、東京都の八王子市を扱っているので、身近に感じ、取り組みやすいと思います。

以上のことから私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 中学校の地理的分野の学習は、小学校の社会科として学習したことを広く詳しく学び、世界と日本の地理的認識を養うことにつなげることです。

そこで私は、小学校の学習からの円滑な接続ができているか、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図ることができる工夫があるかといった視点で調査しました。

東京書籍は、巻頭の部分で、「この国はどこかな」で小学校の学習を振り返り、第1編の「世界のさまざまな地域」への円滑な接続をしています。また、「試してみよう」も、小学校の学習を振り返ることができる工夫であると思います。基礎・基本の確実な定着の工夫として、見開きの2ページに生徒のキャラクターの吹き出しを使った導入、次に、学習の目当てがわかる学習課題、そして展開部分には、写真、グラフ、「地理にアクセス」、関係する人のインタビューなど、資料が豊富であり、本文も丁寧でわかりやすくなっています。右側ページ下に机のマークで、認識、確認が設けられており、学習内容の定着に役立つと考えます。「地理スキル・アップ」は、グラフや地形図の読み取り方など、地理学習の基礎的な知識・技能の習得に活用できると思います。教科書のサイズはA B判であり、本文や資料も充実しています。

以上の点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 東京書籍は、第1編の第3章では「世界の諸地域」と題しまして、各節の最初に、「世界の中の〇〇州を考えてみよう」として、特色をとらえさせようとしています。

次に、第2編第4章の「身近な地域の調査」では、地域調査の手順が生徒にとってわかりやすく解説しており、葛飾区の調査する場合にも活用できると思います。この単元は、生徒が自主的に学習に取り組める大変充実した内容になっていると思います。また、「地理スキル・アップ」「地理にアクセス」が随所に盛り込まれており、基礎的な内容の定着と発展的な内容の習得

場面が多く設定されております。

以上の点から、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

帝国書院は、基礎的・基本的な学習から「さらに深めよう」「追求」と「発展的内容」が盛り込まれており、「チェック&トライ」で学習内容を確認できるようになっています。また、環境問題や産業が抱える問題、過疎・過密の問題、資源・エネルギーの問題などを、本文や特設ページなどに取り上げ、その課題の解決に向けた取り組みを掲載しています。「学習のまとめ」では、習得した基礎的・基本的な事項を白地図でまとめ、それらの知識を関連させて地域像を自分なりにまとめるさまざまな問題を提示しています。また、「技能をみがく」では、グラフのつくり方や地図帳の活用など、地理で重要な技能をコラムにまとめています。写真・イラストなどが大きく掲載され、生徒が読み取りやすくしています。

以上の点から、私は帝国書院を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が3人、帝国書院が2人、教育出版が1人となり、東京書籍がよいとする意見が多数となりましたので、中学校社会の地理的分野は東京書籍を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校社会・地理的分野は東京書籍を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校社会・歴史的分野の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、歴史的分野の目標の1番目に、「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」とあります。

また、2番目のところでは、「国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる」としています。過去に起きた歴史の事実の一つですけれども、その事実を後世の人がどのように評価するかは、それぞれの人が持つ価値観などによって大きく変わってきます。NHKの大河ドラマに出てくる歴史上の登場人物も、主人公が違えば異なった人物像が描かれるように、そこには歴史観などの違いがあらわれてくるのだと思います。

これまでの教科書は、日本の対外政策で、どちらかというと陰の部分強調してきた傾向があり、中には、ことさらに強調し過ぎて、自虐的とすら言われることもありました。歴史教育

というのはどこの国でも同じような傾向があると思うのですが、自国の歴史について子どもたちが誇りを持てるようにと、光の部分を強調する傾向があるように思います。これは歴史認識の問題とはまた少し異なった別の問題ですが、学習指導要領にも記載してあるように、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てるのが歴史教育の目標ですから、日本の過去をあまり悪く書くのはいかなものかと思ってしまう。

そうした視点から、秀吉の朝鮮出兵と南京事件の二つを各社ごとに比較してみました。豊臣秀吉の朝鮮出兵に関しては、自由社と育鵬社が「朝鮮出兵」という表現ですが、他の5社は「朝鮮侵略」という表現でした。南京事件に関しては、自由社の「日本軍によって中国の軍民に多数の死傷者が出た」という表現のところから、帝国書院の「兵士だけではなく、女性や子どもを含む多くの中国人を殺害しました」というようなところまで幅のあるとらえ方をしています。6年前の教科書から比べれば、表現の仕方の違いは少なくなっています。

また、教科書のつくり方の面からは、東京書籍は、「わたしたち歴史探検隊」が身近な地域の調べ学習に活用でき、学習方法などを提示した「歴史スキル・アップ」や興味のわく話題を紹介した「歴史にアクセス」が随所に出てきて役に立ちそうです。

教育出版は、連続性を考える学習活動として、「時代の変化に注目しよう」の項目を設け、「歴史の窓」で興味のわく話題を取り上げております。

日本文教出版は、「タイムトラベル」で言語活動に取り組める課題が多く取り上げられており、「歴史の舞台」「歴史に挑戦」で興味・関心を高められるようになっています。

育鵬社は、「人物コラム」「読み物コラム」などコラムが多く掲載されており、歴史の多様な見方を考えることができます。

他の教科書もさまざまな工夫がなされていますが、東京書籍だけがA B判と、他社のB 5判と比べてサイズが大きいことを生かし、図表や写真が多彩で豊富に掲載されており、しかも、レイアウトがうまくて見やすいように思います。

以上の点から、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 歴史では、教育出版は巻末に博物館のホームページを細かく扱っていることが、今の中学生にとってとても興味深いと感じました。また、四大文明、ギリシャ、ローマ、古代中国と三大宗教など、世界史と関連づけて説明されていて、日本の歴史と一緒に世界史も並行して学べるのが中学生にとって興味がわくと思いました。さらに、年表も見やすく充実していると思います。

日本の歴史を学ぶ上では、戦争に関する記述や歴史上の人物の生き方について、学習を深めるにつれ、自分の考えや思いが広がっていくことと思いますが、教育出版は、生徒が学習しやすいように配慮されていると思います。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 歴史では、我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史の背景の中から各時代の特色を踏まえて理解させることが大事だと思いますので、その点の工夫を見てみました。

東京書籍は、各章の始まりで歴史の流れがわかるように代表的な人物や文化財の写真が掲載されています。また、各章の終わりには、中学校で学習した内容が加わった年表が完成しています。また、欧米や東南アジアの歴史もこの年表の上のほうに記述されています。このことから、時代の特色や流れが理解しやすい工夫がされていると思いました。各章の終わりには、「この時代の特色をとらえよう」というコーナーがあり、時代をとらえさせる課題が出され、言語活動の充実が図られています。具体的には、歴史新聞、比較表、ディスカッションなどです。そして、東京書籍はA B判になっていて、資料や写真が豊富に掲載されていました。

日本文教出版は、各時代の学習の導入が充実しております。单元ごとに学習課題が定められ、意欲を持って学習に取り組ませる工夫がされています。各時代の前半に、時代の転換をとらえる学習活動が配置されています。まとめの学習では、習得したことを活用して、その時代の特色を大きくとらえさせる学習活動があります。また、東大寺の復興と重源、文化財を守り伝える仕事、岡倉天心、フェノロサなどが掲載されており、伝統や文化の学習を重視していると思いました。

私は、東京書籍と日本文教出版の2社で迷いましたが、東京書籍は巻末に用語解説があり、生徒にとって理解を確実にするとともに、自学自習に役立つと思いました。

そのような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 歴史を学習する上で大事なことは、世界の中で日本があることだと思います。このことから、世界史も学習し、なおかつ日本史も学習していくことが大事だと思います。それから、時間的に考えますと、人類が始まってから現代まで、時間的にバランスよく学習していくことが大切であると考えました。その点で、日本文教出版はバランスがよくとれていると思います。さらに、日本文教出版は、歴史に興味を持つように工夫しております。例えば「歴史を掘り下げる」では幅広いテーマを取り上げ、江戸時代のリサイクルのことなど今日的な課題を取り上げております。

このような点から、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 私は、授業の展開や学習の見通しがつかみやすく、歴史の学習への興味・関心を喚起し、学ぶ楽しさや意欲をより高める教科書という視点で検討いたしました。

教育出版は、各単位時間のタイトルに学習内容を象徴する主題と学習事項をあらわす副題を

置き、学習のねらいを明示することで生徒が目当てを明確にして学習に取り組めるよう工夫している点、写真や図、地図、図解、解説などの資料を豊富に掲載し、本文中に関連がわかるように資料番号を挿入してある点、「トライ！」のコーナーで学習したことをまとめ表現する活動を取り入れている点がよいと思います。また、教育出版は、第1章で小学校の歴史学習との接続をスムーズにする工夫をしていること、章末の「学習のまとめと表現」の内容は本区の生徒の実態から見て主体的に学習させるために適していること、近現代史や世界史の扱いが多く、わかりやすいこと、歴史年表が見開きで使いやすく、裏面の「博物館を利用しよう」が活用できることが評価できます。

以上のことから、私は教育出版を推薦します。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

教育出版は、1時間で見開き2ページを学習する構成になっており、生徒がその時間に学習する内容の見通しを持つことができると思います。また、歴史学習に不可欠な写真、絵、地図、図解などの資料が豊富に掲載されており、歴史学習への興味・関心を起こし、学ぶ楽しさと意欲が出るよう工夫されております。さらに、本文と資料のかかわりがわかりやすいように資料番号が付されております。基礎・基本の習得とともに、読解力、表現力を養えるよう、「学習のねらい」「トライ!」「学習のまとめと表現」「読み解こう」などを設け、言語活動やいろいろな資料の読み取りなどを身につけさせる工夫がされております。巻末の折り込みの歴史年表は、原始、古代から現代に至るまで、全時代を一覧できる見開きのページになっており、時代の大きな流れや現在までの距離をつかみやすいように仕上げられています。

このような点から、私は教育出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、教育出版が3人、東京書籍が2人、日本文教出版が1人となり、教育出版がよいとする意見が多数となりましたので、中学校社会の歴史的分野は教育出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校社会・歴史的分野は教育出版を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校社会・公民的分野の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、公民的分野の目標の一番目に、「個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う国民として必要な基礎的教養を培う」とあります。

また、3番目のところでは、「国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類

の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる」としています。

まず、国旗・国歌については各社とも微妙に表現が異なっていますが、自由社は「国旗と国歌に対する敬愛は国を愛する心情につながる」とし、育鵬社は「自国の国旗・国歌に愛着を持つのは当然」として2ページを割いて詳しく記述してあります。そのほかでは、「互いの国旗・国歌を尊重し合うことが大切」といったように「大切」という言葉を使っているところと、「互いの国旗・国歌を尊重し合うことが国際的な儀礼」といったように、「儀礼」にとどまっているところがあります。

次に、公共の福祉について。人権は侵すことのできない権利であるということを強調するあまり、公共の福祉による権利制限や義務の問題を軽く扱っていないかどうかについて比較・検討しました。清水書院は公共の福祉についての記述がやや弱く、帝国書院は社会の一員であることを強調し適切な内容になっています。

次に、男女平等の記述では、ジェンダーフリーを明確に否定しているのが自由社と育鵬社です。他社はたんと記述しているところが多いのですが、清水書院は男女格差をやや強調し過ぎているような感じがします。教科書のつくり方としては、東京書籍は「公民にチャレンジ」で学習方法の提示や「公民にアクセス」で興味・関心を引く話題を、「深めよう」「トライ」で発展や補足的な内容を取り入れています。教育出版は「公民の窓」、興味・関心を高める「読み物資料」を掲載しています。日本文教出版は「ズームイン」「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「やってみよう」「公民プラスアルファ」など、読み物や興味・関心を引く話題が豊富に掲載されており、発展学習を進めるには役立ちそうです。

教科書のサイズは、東京書籍だけがA B判で、他社のB 5判より大きく、ビジュアルな編集になっていて見やすいように思います。

以上の点を総合的に見て、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 松本委員。

○松本委員 政治や経済などの社会の仕組みや国際問題などを学習することは、生徒にとって遠い世界のことなのでなかなかわかりにくいと思いがちです。そこで私は、生徒が身近な実感を伴い、学習意欲を喚起するわかりやすい紙面づくりや構成となっている教科書という視点から調査いたしました。

それぞれ工夫されていましたが、帝国書院は、1単位時間の学習の流れがわかりやすく、使いやすい構成になっていると思います。具体的には、節タイトルの左に学習内容を示し、身近でわかりやすい導入教材「クローズアップ」を設置していること、「チェック&トライ」で学習内容が理解できているか確認して、習得した知識・概念を活用してさらに理解を深める工夫が

してあること、写真やイラスト、グラフ、解説などの資料が豊富で、本文中に資料との関連を示す資料番号をつけてあり、使いやすいこと、章末の学習のまとめが本区の生徒の実態から見て自主的に学習できるような内容であることなどです。そして、「ステップアップ」で話し合いやロールプレイなどの活動を取り入れていること。最終章でレポート作成の手順や方法を段階的に丁寧に扱ってあることなど、言語活動の充実を図る上で使いやすいと考えます。

以上のことから、私は帝国書院を推薦します。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 私は、生徒が社会に出て生きていくために必要な政治、経済、世界の動きについてどのように学んでいくかということを中心として検討いたしました。

教育出版は、巻頭に、「公民の学習を始めるにあたって」として、はじめに公民を学習する意義を後輩に向けたメッセージとして説明しています。メッセージの中には、具体的な学び方として、まずは公民の教科書を隅々まで読み解くこと、新聞やニュース番組、インターネットの情報、本などを活用することに触れています。また、需要と供給の関係について、具体的な例を挙げた関係図や「読んで深く考えよう」で詳しく解説していたり、株式市場の仕組みについて、投資の意味や新聞の株式欄の読み方など、詳しく解説していたりと工夫されています。世界同時多発テロ事件に始まり、政治や世界の動きも含め、最後は持続可能な未来への行動として、「未来への私の約束」を作成するなど、生徒にとって政治や経済、世界の動きなどを学びながら生きる意味をとらえ、希望を抱き、正しい判断力を養える工夫がされていると思います。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 学習指導要領において、「個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う」ことが目標とされていることから、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を担うことができるかという視点で調査いたしました。

清水書院は、自由・権利、責任・義務など、抽象的になりがちな事柄を具体的な事例をもとに示し、学びやすくなっています。また、「公民ファイル」「卒業論文を書いてみよう」では、よりよい社会の形成者を目指し、卒業を前にして、これまで学んだ地理や歴史、公民的な分野の学習で培った力を生かしてまとめる工夫がされています。卒業論文を書くに当たっては、調査の仕方やまとめ方など詳しく説明しており、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養をまとめるのに適切な内容であると思います。

以上の点から、私は清水書院を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 私は、公民的分野では、現代社会の特色、文化や法、金融などに関心を持つこと

が大切であると思います。

日本文教出版は、見開き 2 ページで単元の学習課題が設定されており、学習内容を把握しやすくなっています。また、本文のページの下に「学習課題を確かめよう」があり、学習内容の確実な定着と活用のための学習活動となっていて、生徒にとって学習の流れがつかみやすい工夫がされています。最終単元のレポート作成の学習では、課題設定から資料の収集と読み取り、考察、まとめ方と作成の手順を詳しく解説してあり、表現力を高める工夫とともに、地理や歴史で学んで得た知識や技能を用いてレポートを完成させることができ、みずからの成長を実感できると思います。各章末の「チャレンジ公民」は、各章の学習内容に関する事例問題を現代社会の見方や考え方を使って解決を図るページで、生徒みずから問題を解決できる課題を設けています。このことは、社会について生徒が考え、判断し、表現する学習となっています。

東京書籍は、単元の最後にすべて「確認」「○○について説明しましょう」の表記があり、また、「～ディベートにチャレンジ～」 「経済プレゼンテーション」のコーナーを設けて、習得した知識を活用し、言語活動の充実を図っています。さらに、人権に関する資料が多く掲載されています。

日本文教出版か東京書籍か、それぞれよいところがあり、迷いましたが、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

東京書籍は、「公民として基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」という目標達成の中で、自由・権利、責任・義務について、個人と社会とのかかわりをわかりやすく調べられています。また、教科書の大きさが他社の教科書より一回り大きいために、写真や絵などを豊富に取り込んで習得しやすくされています。章の最後に、グラフなどを活用する学習課題「みんなで考えてみよう」というページが設けられています。また、終章に 3 年間の社会科の学習のまとめとして、現代社会の抱える課題について探究し、レポートを書くという章が設けられています。さらに、インターネットと人権についてもわかりやすく仕上がっています。我が国の領域をめぐる問題では、北方領土、竹島、尖閣諸島に関する記述も無難にまとめられています。

以上の点から、私は東京書籍を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が 2 人、日本文教出版が 1 人、清水書院が 1 人、帝国書院が 1 人、教育出版が 1 人と意見が分かれました。一番多い東京書籍が 2 人で、半数の 3 人にも達していませんが、どういたしますか。

面田委員。

○面田委員 6 年前にも、当時の教育委員 5 人のうち 2 人が多数となり決まった教科書があったように聞いております。今回の一人ひとりの推薦結果は各委員がそれぞれの教科書をしか

り読み込んで出た結果であると思いますので、意見は分かれてはいましたが、2名の委員さんが推薦している東京書籍に決めてよいのではないかと思います。

○委員長 松本委員。

○松本委員 私も、各教育委員は、みずからの責任と判断のもとに、よりよいと考える教科書を推薦していると思いますので、推薦人数の多い東京書籍に決定してよいと考えます。

○委員長 それでは、お2人の委員から東京書籍に決定してもよいというご意見がありましたので、中学校社会の公民的分野は東京書籍を採択したいと思います、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校社会・公民的分野は東京書籍を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校社会・地図の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領に示してありますように、地図は、地理的事象に対する関心を高め、さまざまな資料を適切に選択、活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察する能力を育成するための重要な教材であります。

調べ学習に関しては、東京書籍は「チャレンジ」というコーナーで、帝国書院は「やってみよう」のコーナーで記載しています。発展については、東京書籍は「詳しく見る図」「読図の一步」というコーナーで、帝国書院は「手がかり」「やってみよう」というコーナーで扱っています。しかし、地図は何と見やすさ、使いやすさが一番のポイントだと思います。地図を見る上での着眼点については、東京書籍は、地域の特色を浮き彫りにする視点を「クローズアップ」で紹介し、帝国書院は「地図をみる目」で具体的な視点を紹介しています。

教科書のサイズは、東京書籍は他の社会科の種目がA B判なのに、地図だけがなぜかB 5判と小さくなっています。帝国書院はA B判で大きくて見やすく、折り込みで日本全土の地図が大きく掲載しており、また、地名表記がはっきり記されていてわかりやすいように思います。

このようなことから、私は帝国書院を推薦します。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 私は、資料の新しさ、見やすさや活用のしやすさを観点として調査しました。地図帳は、社会の学習において地理的分野、歴史的分野、公民的分野、すべてにわたって折に触れて活用するものでありまして、最新の資料を掲載していることが大切だと思います。

その点、帝国書院は、新しい資料が多く、充実していると思います。また、巻頭では、「この地図帳の使い方」という項目を設け、地図の活用の方法について詳しく解説されております。

「地図をみる目」というコーナーは、地図を見る上で具体的な視点を示しているものと思いま

す。

このようなことから、私は帝国書院を推薦します。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 私は、地図は使いやすさと見やすさが重要であると考えています。

東京書籍は、巻頭の「地図でスタート」で地図帳の構成や活用方法について説明していたり、世界地図の中に同じ縮尺の日本地図を入れ、日本の大きさと比較できるようにしていたりして工夫されています。また、葛飾区の地名が東京書籍では50万分の1の東京都と周辺の拡大図や10万分の1の東京の拡大図に掲載されていたり、区内の鉄道の駅が10カ所も掲載されていたりするなど、郷土を愛する観点からも、生徒にとって親しみやすいと思いました。

そのような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 私は、地図活用の技能を身につけることができる地図帳かどうかという視点で調査しました。

帝国書院は、巻頭の「この地図帳の使い方」で、オーストラリアを例にして、地図帳の構成や産業などを調べるときの方法について詳しく解説しています。学習課題として、「地図をみる目」や「やってみよう」が随所に設けてあり、生徒がみずから学ぶための調べ学習や問題解決的な学習に対応しています。また、A B判なので、大きく見やすく、地域の位置関係や地域間の結びつきがとらえやすくなっています。

以上の点から、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 帝国書院は、ワイドなA B判で編集しており、世界州別図や日本地域別図がやや大きく、そのほかの紙面も見やすいと思います。また、明るい色調で、地名表記がはっきりしたわかりやすい字体で記されていて見やすい点や、鳥瞰図など、資料図やグラフ、写真、図などが多く、内容も工夫されている点を評価します。

日本全図が南西諸島から北方領土までの国土全域を見開きで掲載しており、日本列島の全体像がつかみやすく、交通機関の結びつきや近隣諸国との位置関係がよくわかる点もよいと思います。

以上のことから、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

北方領土、竹島の記述については、東京書籍、帝国書院ともに扱いに違いは見られませんでした。そのほか、アジアの地図においても、尖閣諸島と中華人民共和国との間に国境線が明示されています。また、沖ノ鳥島も両社ともに日本の領土として明示されています。

帝国書院の特色として、「この地図帳の使い方」でポイントを紹介しています。また、「地図

をみる目」というコーナーを設け、具体的な視点を紹介しています。航空写真や景観写真を地図と適切に組み合わせ、理解することに役立つよう工夫されています。発展的学習の工夫として、「手がかり」「やってみよう」といったコーナーで、なぜ関東地方に人口が集中するのかなど具体的な学習課題を提示しています。環境問題については、「世界の環境問題」というテーマで、資料図と写真を用いて具体的に説明されています。ほかにもポイントとなる箇所にはロゴマークをつけて目立つように仕上げられています。

以上のことを総合的に判断して、帝国書院を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、帝国書院が5人、東京書籍が1人となり、帝国書院がよいとする意見が多数となりましたので、中学校社会の地図は帝国書院を採択したいと思います。異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校社会・地図は帝国書院を採択することに決定いたします。

それでは、中学校数学の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、数学の目標は「数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる」とあります。特に数学嫌いの子どもがふえていると言われる今日、数学的な活動の楽しさを感じられるように、身近な生活と数学を関連づけるような工夫をしていくことが大切であると考えております。

東京書籍は、「数学のまど」で興味ある話題を取り上げ、巻末で「数学の探究」「生活と数学」「数学の歴史」「数学パズル」と多彩な形で興味・関心が高められるように工夫しています。

大日本図書は、章末の「社会にリンク」で興味を引くコラムは、巻末資料「マスフル」で生活関連や数学の世界を掲載しています。

学校図書は、「クローズアップ」で興味深い話題を、巻末の課題学習「自由研究」のページで探究的活動を進められるようにしています。

教育出版は、「数学の広場」で学習内容を深める内容を、「数学ミニ事典」で読み物やおもしろい話題を、巻末の「自由研究」で身の回りの話題などを掲載しています。

啓林館は、「数学展望台」で数学にまつわるおもしろい話を、巻末の「数学広場」でいろいろな数学を紹介しています。

数研出版は、「調べよう、試してみよう、見つけよう」で数学の身近さやよさを感じられるよ

うにし、巻末の「数学の音」で話題を通した数学の世界を取り上げています。

日本文教出版は、章末の「数学のたんけん」で興味の持てる話を、巻末の「数学研究室」で探究活動に生かせるようにしています。

また、数学は本区でも少人数授業を多くの学校で実施している関係から、基礎的な問題と発展的問題とがバランスよく載っていることが必要になります。

東京書籍は、基礎・基本の確実な定着を図るために理解度を確認してから次の段階に進めるように、「基本の問題」「章の問題A」「章の問題B」といった配列になっています。また、生徒の学力状況やつまづきを考慮して、間違い例を載せたり、「もっと練習」の追加問題を載せたりして習熟度別指導に配慮しています。

啓林館は、必修内容の本編の後ろに「くり返し練習」のコーナーがあり、多数の問題が掲載され、習熟度別授業や家庭学習に対応できるようになっています。

大日本図書は、問題量が豊富に掲載されており、絵や写真が多く使われて、視覚的にきれいに見えます。

色使いがやわらかな感じがしたのは東京書籍でした。

各社ともほとんど差がなく見えて悩んだのですが、私は、わずかなところで東京書籍を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 本区で行っている「確かな学力の定着度調査」の結果を見ると、数学は、教科の好き嫌いとは教科の理解度において、学年が上がるにつれ数値が下がり、大きな課題だと考えます。そこで、定着が十分でない生徒に対しての学び直しや、習熟の遅い生徒に対しての手だてが図りやすいか、また、わかりやすい構成で数学の楽しさや社会での有用感を実感できるかという観点で調査いたしました。

7社の教科書を見た上で、東京書籍と啓林館がよいと思いました。さらに検討した結果、東京書籍には、例、確かめ、問題と、順序よく配列され、わかりやすく、節末に「基本の問題」、章末には問題A、Bと並び、巻末には振り返りや発展の問題があり、生徒の実態に応じて活用できると思いました。また、数学的な活動や問題の題材、写真や資料などが身近な興味・関心を高める内容で構成されている点や、分量やバランスなどがよい点も評価しました。

以上の点から、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 面田委員。

○面田委員 「葛飾区教育振興ビジョン」の一層の推進をする観点から、生徒の理解の程度に応じた少人数指導や習熟度別指導への対応、数学嫌いをつくらないための学習意欲の向上や基礎・基本の定着、自学自習など家庭学習の習慣の三つの視点から選びました。

啓林館は、必修教科である本編と、子どもの興味・関心に応じて自由に取り上げることで

きる配当時間外の「くり返し練習」と「数学広場」の2部で構成されています。「くり返し練習」のコーナーは、生徒が自分で取り組める問題が多数用意されています。授業中の補充問題や家庭学習の課題として使うことができ、基礎・基本の定着のための反復練習となります。「数学広場」は、発展問題等があり、本編でつけた力をさらに伸ばしたり、学習の総仕上げを習熟度に合わせて使うことができたりします。例題では、解答や証明も記述され、生徒が問題に取り組む際の手本にすることができます。また、「数学展望台」のコラムが適所に配置され、数学のおもしろさや興味を深める工夫がされています。さらに、数学的活動を通して、言語活動、「みんなで話しあってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」を充実させ、表現力を高め、より理解を深めることができると思います。

以上の点から、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 平成22年度の本区で行われた学力調査において、数学の基礎力の達成率が70%でありました。また、応用力での達成率が43%であります。葛飾区の生徒は、基礎・基本はある程度定着しているものの、これから応用力をつけていくことが課題と考えます。教科書には、本区への実態への対応が求められると思います。

啓林館の教科書では、習熟度別授業、家庭学習等の多様な学習形態に対応できるようになっていると思います。「数学広場」では、興味・関心に応じて取り組める問題や身につけた基礎・基本の力をさらに伸ばすための問題や、基礎・基本の力を活用する課題が掲載されています。このように、啓林館の教科書は本区のニーズに対応できると考えました。

以上の点から、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 数学は積み重ねの教科です。一度でもつまずいたりわからなくなったりすると嫌いになってしまう教科なので、義務教育の勉強のときにぜひ理解して行ってほしいと思います。

そこで、東京書籍は読解力が求められている文章問題を多く扱っていて、生徒自身が問題を解いて積み重ねることで基礎学力を身につけることになると思います。また、巻末の発展も充実していて、「駆け足問題」「基本のドリル」「いろいろな問題」と楽しく学ぶ教材も多く取り入れられていて、個に応じた指導ができるようになっています。

以上の点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

改正された学習指導要領の趣旨を踏まえなくてはなりません。一方、数学科の場合、個々の生徒の理解の程度に応じて指導を充実させたり、家庭でも主体的に自学自習することができたりするように、必修外の部分にも多種多様な教材や練習問題が豊富に用意されていることが望ましいと言われております。そのような面を考慮に入れ検討いたしました。

東京書籍は、基礎・基本から、それらの発展的内容まで盛り込まれており、確かな学力の定着を図り、興味深い課題や思考、説明など、学習の助けとなるさまざまな工夫がされています。

構成としては、生徒の学力の状況やつまずきを考慮し、問の右側に「もっと練習」「ちょっと確認」として、生徒の習熟度に合わせた配慮がされています。さらに、「数学の探究」「生活と数学」「数学の歴史」「数学のパズル」は、生徒の興味・関心を高められる資料です。

このような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が4人、啓林館が2人となり、東京書籍がよいとする意見が多数となりましたので、中学校数学は東京書籍を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校数学は東京書籍を採択することに決定いたします。

それでは、中学校理科の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、理科の目標は、「自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う」とあります。最近指摘されている子どもたちの理科離れを防ぐためには、子どもたちの興味・関心を引き、探究心がわいて、学習意欲が高まるようにすることが大事だと思います。そこで、身近なところの不思議を紹介したり、生徒の興味・関心や意欲を引き起こしたりできるような観点から調べてみました。

東京書籍は、「科学と生活」で身近な話題や興味・関心を引くテーマを取り上げ、「科学と職業」で職業に関心を持つようにしています。

大日本図書は、「トピック」で科学に関する話題を、「くらしの中の理科」で日常生活に係る科学の話題や科学にかかわる職業、科学者のエピソードなどを取り上げています。

学校図書は、「科学の窓」で理解を深める話題を、「どんな仕事？」で職業を紹介しています。

教育出版は、「ハローサイエンス」で科学の話題を、「実生活と科学」で学習を身近に感じるものを取り上げ、「科学史」で科学者の発明・発見などを紹介しています。

啓林館は、「科学の広場」で科学の話題や興味深い活動を、「科学偉人伝」で科学者の紹介を、「先人の知恵袋」で昔の人が身につけた知識や工夫を紹介しています。

そのほかで気づいたことは、啓林館が基礎的な内容の定着を図るために別冊で「マイノート」をつけています。また、東京書籍は、デザインや色合いがよく、写真もきれいでインパクトが

あります。大日本図書は、わかりやすい図や写真を使っており、巻末の自由研究が充実しています。どの教科書も本当にすばらしく、もう一度昔の子どもに返ってすべての教科書で勉強し直したくなる気持ちになります。

いろいろと迷いましたが、総合的に見て、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 論理的思考が要求されるPISA型学力は少し回復したものの、引き続き重視していかなければならないと考えます。理科におきましても、学習した知識や経験を活用して、筋道立てた考察ができるよう必要な情報を選びながら、考え方を積極的に説明、表現する力をつけていかなければならないと考えます。

啓林館の教科書には別冊として「マイノート」がついており、基礎的な内容が身につくように工夫されているとともに、論理的に考えながら進められるように構成されています。

よって、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 大日本図書は、学習指導要領に示された理科の目標及び内容に照らして、基礎的・基本的な内容が適切に取り上げられています。また、発展的な内容の資料も多く取り上げ、3D眼鏡を用いて立体視できる写真などを載せています。レポートの書き方は、発達段階に応じて、最初に「レポートのかき方」で基本を身につけさせ、その後も「グラフのかき方」や「実験結果例」を示すことで、レポートを書くために必要な技能の載せ方に工夫があります。

葛飾区に関連したものとして、1年「身近な金属」におろし金職人の勅使河原隆さん、2年「化学変化と原子・分子」に亀有銀座商店街ゆうろ一どの少年両さん像を写真入りで紹介しております。

以上の点から、私は大日本図書を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 これからの日本を考えると、理科好きな子を育てたいと強く思います。「葛飾区教育振興ビジョン」もそういった視点で施策を考えているわけです。そこで、理科の基礎・基本の定着、興味・関心の喚起、科学的な思考力の育成を観点にしました。

啓林館は、「マイノート」を使うことにより、見て理解することから、書いて理解するという学習に工夫されています。「マイノート」の基本のチェックでは、基本的な理科用語や学習内容を確実に定着できます。家庭学習の充実と授業での個人の学習活動を援助する工夫がされています。「学習のまとめ」では、単元全体の基本的な学習内容の確認や整理、復習ができ、「力だめし」で単元全体の基本的な学習内容がどれだけ達成できたかわかります。「ふり返り」「単元のねらい」「学習のまとめ」「力だめし」が設定されていて、見通しを持った学習が進めやすくなっており、振り返りが随所であり、繰り返して学習することで定着を図っています。

以上の点から、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 まず、単元の指導順が自由に並べかえてできるようになっていますが、葛飾区では、1年生の最初に、花のつくりなど植物について学習する環境にあるので、一番前に載っている啓林館、大日本図書、東京書籍を選びました。

次に、この3社の比較・検討をしたところ、啓林館は、理科で大切な「疑問を持つ」「課題設定や情報を収集する」「仮説・観察・実験の計画を立てる」「観察・実験」を行い、「結果を得る」「結果を考察して発表する」など、プロセスを興味深く、わかりやすく学習できるよう工夫があってよいと思いました。写真や資料、文章がすっきりしていて、選択できる実験や観察が設定されている点もよいと思います。また、学習した内容と日常生活や社会とのつながりを紹介し、理科の有用性を実感させる工夫がある点や、別冊「マイノート」が家庭学習の充実と授業での個人の学習活動を援助する上で活用できる点がよいと思います。

以上のことから、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 委員長のほうから申し上げます。

大日本図書は、ページ数が他社と比べて圧倒的に多く、また、観察・実験、資料の内容及び量も一番充実していると思います。発展的内容も、種類や数が豊富で、それ以上の部分と明確に区別ができるように、囲みやインデックスでわかりやすく示されています。また、実験中の様子など、写真を多く取り入れ、興味や関心を抱かせるようにつくられています。学習内容と関連させて学びを深める話題、トピック、また日常生活との関係で、「くらしの中の理科」などの囲み資料が充実しています。必修の観察・実験のほか、「やってみよう」として多くの実験を掲載しています。3年「エネルギー利用の課題」という項目で、原子力発電や放射能について丁寧に記述されています。自然観察に関する資料には、自然環境マークをつけ、理解しやすくしてあります。また、巻末の「科学のとびらを開こう」という課題研究、自由研究のページがあり、理科好きの生徒には大変よいと思います。

このような点から、私は大日本図書を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、啓林館が3人、大日本図書が2人、東京書籍が1人となり、啓林館がよいとする意見が多数となりましたので、中学校理科は啓林館を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校理科は啓林館を採択することに決定いたします。

それでは、中学校音楽（一般）の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、音楽の目標は、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」とあります。また、歌唱教材としては、我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、または我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえるものを含めるとしています。

歌唱共通教材は、2社とも7曲掲載されていますが、教育芸術社は、「心の歌」として楽譜の掲載など丁寧に取り扱っています。日本の伝統文化については、箏、尺八、雅楽、歌舞伎、能、狂言、文楽など、2社とも独自の視点で个性的に取り上げています。本区は合唱活動が盛んで、ほとんどの中学校が合唱コンクールを実施しています。そこで、合唱曲の取り扱い方ですが、教育芸術社は巻末に、心通う合唱として合唱曲をまとめて載せてあり、特に小学校の歌唱教材の「ふるさと」が2冊とも全校合唱として掲載されています。教育出版は、「歌のアルバム」として合唱曲を載せており、私の好みの曲が多いのですが、教育芸術社のほうが使いやすいような感じがします。

そのほかでは、教育出版の巻末にある「名曲選集」がなかなかよいと思いました。写真やデザインの間では、教育芸術社のほうはデザインがよく、落ちついた色使いをしています。

以上のことを総合的に見て、私は教育芸術社を推薦します。

○**委員長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 言語活動は音楽においても重視することとなっており、身体表現とともに、言語表現も自己表現の柱となっています。

教育出版は、知覚や感受させるためのポイントが示されていて、言語表現の学習を随所で行うことができます。しかも、その数が教育芸術社が15カ所に対し、教育出版は28カ所と多くの箇所です。また、質問など吹き出しがあり、思考、判断させる場面を設定し、言葉で説明させることを考えて構成されています。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** 秋本委員。

○**秋本委員** 音楽は、一生音楽に親しみ、豊かな情操を養っていくことが重要だと思います。

教育出版は、日本の歌について、美しい写真を用い、曲の中の用語の解説もしっかり書かれていると思います。また、日本の伝統音楽も、写真や図とともに生徒の興味・関心を引きつけるように考えられて載せられています。「君が代」についても、歌の大意の説明がとても丁寧でよいと思います。また、外国と日本の文化の違いを考えさせる教材や歴史的資料についても載せられており、音楽文化への興味を引き出す工夫があります。そのほか、心に響く音楽家のメッセージや音楽家が活躍した時代が一目でわかる年表など、音楽に親しめる丁寧なつくりにな

っています。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 教育芸術社は、目次や学習目標や学習活動がわかるような工夫があり、全体の紙面構成において、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明でわかりやすいと思います。また、歌唱共通教材が全曲「心の歌」として取り上げ、ほかの教材と明確に区別が付き、ピアノ伴奏つきで掲載されていて使いやすいと思います。さらに、小学校での学習内容や前の学年で学習した内容など繰り返し学習することによって定着をより確実にしようとする工夫がよいと考えました。

以上の点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 音楽は、豊かな感性や情緒を育てることに関係していると思います。一生を通して音楽に親しみ、楽しめる素地ができるようにつなげることが大事です。教育芸術社では、歌唱教材、歌唱共通教材、「心の歌」というタイトルをつけて、日本の歌の美しさを味わえるように工夫している点、それから、「ここがわかればグレードアップ」というコラムなど、音楽の特徴やよさを感じ取れ、理解ができ、表現活動も行える工夫があると思います。

巻頭の「音楽プリズム」に扱われている写真や言葉、巻末の「音楽の約束」、音楽史、写真等は生徒の関心や意欲を引き出すとともに、発展的な学習や補足的な学習につながると思います。

そこで、私は教育芸術社を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

教育芸術社は、基礎・基本を確実に習得できるよう、表現・鑑賞を問わず、教材のねらいや扱い方が明確になっています。また、繰り返し学習などによって基礎的な内容の定着が図れるようになっています。さらに、小学校の学習内容をはじめ、前の学年で学習した内容を繰り返し学習することによってより確実に定着するよう配慮されています。我が国の伝統文化など、音楽にかかわる文化についても、幅広い視点からそのよさを味わうよう工夫されています。

以上の理由により、私は教育芸術社を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、教育芸術社が4人、教育出版が2人となり、教育芸術社がよいとする意見が多数となりましたので、中学校音楽（一般）は教育芸術社を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしとのことですので、中学校音楽（一般）は教育芸術社を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校音楽（器楽）の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 器楽は、生徒が楽器を弾けるようになることによって音楽活動の楽しさをさらに体験できるものであり、生涯にわたって楽器を愛好するきっかけにもなる大切な活動です。したがって、わかりやすく、丁寧に楽器の奏法が記載されていること、楽しく演奏できる楽曲が掲載されていること、これらがポイントであると思います。

教育出版は和楽器から始まりますが、教育芸術社はリコーダーから始まる構成になっています。リコーダーやギターは教育出版のほうがページ数を多く割いていますが、箏、三味線、太鼓などの和楽器は教育芸術社のほうがページ数を多く割いています。また、教育芸術社は、文字、写真、楽譜、挿絵などが見やすく、練習曲もさまざまな楽曲に合った曲が掲載されているようでございます。

そのような点から、私は教育芸術社を推薦します。

○**委員長** 松本委員。

○**松本委員** 器楽は、生涯にわたって楽器を愛好するきっかけにもなる大切な音楽活動だと思います。楽器を手にしてみたい、演奏してみたい、そういう気持ちにさせてくれる教科書がよいと考えます。

教育芸術社は、第一線で活躍するプレーヤーがモデルとして登場し、楽器へのあこがれや意欲をかき立てる工夫があり、よいと思います。そして、小学校で習ったことのあるリコーダーから入っていろいろな楽器へと発展し、各楽器がバランスよく配置され、奏法が見やすくわかりやすいと思います。また、和楽器の基本的な奏法をわかりやすく説明し、我が国の伝統文化のよさを味わえる工夫があるのも評価できます。

以上のことから、私は教育芸術社を推薦いたします。

○**委員長** 面田委員。

○**面田委員** 小学校で身につけた器楽の技能をさらに伸ばすことができるか、合奏を通して音楽をつくり上げる楽しさや喜びを味わうことができるかという観点で見ました。

教育出版は、学習の目標がページの左上に明記されており、楽器の基礎の内容については説明が丁寧に理解しやすいと思いました。また、和楽器、リコーダー、いろいろな合奏、名曲旋律等の内容があり、文字、楽譜、音符の表記が大きくて、合奏を楽しんで取り組めるといえました。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 音楽活動に注目したとき、どのような器楽を学習していくかは重要なポイントだと考えます。ところが、学校で保有している楽器には限りがあります。教科書で取り上げる楽

器が幅広く載ることによって、生徒がより楽器に興味を持ち、器楽の学習活動に関心を持って臨めるようになると思います。取り上げられている楽器は、教育出版は17種類ですが、教育芸術社は28種類と大変幅広く取り上げています。

以上の点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 教育出版は、構成が、箏、三味線、篠笛など和楽器から入り、リコーダー、ギターといった学習スタイルで日本の伝統的な楽器を重視した配列です。また、全体的に解説も詳しく丁寧で、中学生にとってわかりやすく学べるように示してあります。特にリコーダーのサミングの指導のページが非常にわかりやすく、写真を使って後ろの穴の押さえ方を丁寧に説明しています。楽器の基礎、和楽器による合奏、リコーダーによる合奏、いろいろな合奏で四つのテーマで構成され、工夫があります。目次に楽器編成や難易度が☆マークで示されていることなども、生徒が興味や関心を持つことができると思います。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

教育芸術社は、共通事項を初め、基礎・基本を習得できるよう工夫され、中学校で実際に扱われている楽器を取り上げ、それらの特徴を感じ取って理解し、基礎的な奏法を確実に身につけられるよう工夫されています。また、生徒の興味・関心・意欲を引き出し、豊かな楽器の活動を導くように工夫されています。巻頭には、「発展的な学習」として、演奏家の写真とコメントや、ビートルズの曲に用いられた楽器を紹介するなど、生徒が楽器や学習活動に関心を持つようにつくられています。さらに、我が国の音楽文化について理解を深めるために5種類の和楽器を取り上げ、我が国の伝統音楽のよさを味わうことができるようになっています。

このような点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、教育芸術社が4人、教育出版が2人となり、教育芸術社がよいとする意見が多数となりましたので、中学校音楽（器楽）は教育芸術社を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしとのことですので、中学校音楽（器楽）は教育芸術社を採択することに決定いたします。

それでは、中学校美術の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、美術の目標は、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術

の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」とあります。美術の創造活動の意欲をかき立てるためには、まずは、よい作品を大きなサイズでしっかり生徒に鑑賞させ、感動を持たせることが大事です。また、我が国の古典的な芸術をきちんと紹介し、日本の芸術のすばらしさを理解させていくことも大切です。

そのような視点から教科書を見ていきますと、光村図書は鑑賞の写真資料が大きくてきれいで、レイアウトデザインが上手であるように思いました。

開隆堂は、多くの写真が扱われているのですが、小さ目のものや同じサイズのものも多く、視覚的にインパクトが弱いように思います。日本の美術作品の取り扱いについては、東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、光村図書が最も多く、続いて開隆堂、日本文教出版の順でした。また、光村図書は、巻頭で谷川俊太郎の詩『美しい』を載せ、美に対する意識を啓発しようとしたり、作品の随所に作者の言葉を入れたり、アンジェラ・アキの「手紙」の歌詞を掲載したりして、言語活動をかなり意識した編集となっています。解説文も含めて、国語のような美術の教科書といった感じです。

以上の点から、私は光村図書を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 全社とも写真も印刷もきれいでよいと思いました。特に日本文教出版は印刷が鮮明できれいです。そして、生徒の作品と作家の作品が数多く載っているのも、生徒の興味や創造意欲をかき立てるものとなっていると思います。

以上の点から、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 美術は、鑑賞も重要な学習分野であります。一流の作品に触れることによって美術への関心が高まっていきます。同時に、作者の人生と生きた時代を知ることができると思います。作品はできるだけ多くの質の高い作品を載せてほしいと思います。

日本文教出版は、ピカソやゴッホ、ダリなど、世界の有名な質の高い作品が多く紹介されています。以上の点から、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 美術は、表現と鑑賞がバランスよく入っているか、美に対する感性を育てられるか、生徒が意欲を持って創作活動に取り組もうとする内容になっているかの三つの視点で見ました。

光村図書は、題材ごとに目標を明示し、身につけたい力や学習のねらいが明確になっております。そして、随所に、「Q」や電球マークで問いかけをし、生徒が自主的に学習に取り組める配慮がされております。また、巻頭には、『美しい』という詩があり、鑑賞をより深めるとともに、美に対する創造力を引き出そうと工夫しております。

さらに、両面をたたんだページでは、写真と詩を掲載した「特別展示室」がありました。ここでは、テーマにふさわしい美術作品と心を揺さぶる詩を取り上げ、心に響くと思いました。大画面は迫力があり、作品の細部まで鑑賞できます。

以上の点から、私は光村図書を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 日本文教出版は、図画工作から美術へというメッセージで小・中の連携をスムーズに図る工夫があり、美術1、美術2・3上、美術2・3下へと発達段階に応じて美術の広がり構成されています。また、身近に感じる内容を取り上げていて、わかりやすく、写真等の配置や大きさも見やすく、興味・関心を引き出し、やる気にさせる工夫がされています。さらに学習のねらいがそれぞれの題材に記載されていて、題材の意図がよく理解でき、主体的に取り組めるよう工夫されています。日本の美術や伝統と文化のよさを学ぶ題材の取り上げ方もよいと思います。

以上の点から、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

日本文教出版は、総ページ数が120ページと少な目ですが、目次の分類に基づいて、目次と見開きページの左側上段を色分けして示し、わかりやすくなっています。また、題材のページには題材ごとの学びのねらいが各項目とも観点に即して示されており、教科書1で、感じることから始めて美術との出会いや発見の場を広げます。教科書2・3上で、身近な美術への気づきを通して、自分を知り、生き方を学ぶことができます。教科書2・3下では、時間と空間を社会や世界に広がる美術を体験するという構成になっています。生徒作品については、発想、構想の過程や技術面での工夫などを作者自身の言葉であらわしています。美術の出会い、感じる心のあり方で構成され、身近なものを見つめ、表現することを楽しみながら美術について学んでいけると考えます。季節や自然の形、光や色の表現を感じ取ることから美術が始まると位置づけています。

このような点から、私は日本文教出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、日本文教出版が4人、光村図書が2人となり、日本文教出版がよいとする意見が多数となりましたので、中学校美術は日本文教出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校美術は日本文教出版を採択することに決定いたします。

それでは、中学校保健体育の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、保健体育の目標は「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる」とあります。

本区の生徒の課題の一つに体力向上があります。体力向上や新体力テストについては各社とも取り上げていますが、測定方法など詳しく掲載しているのは東京書籍で、4ページにわたって9種目を解説しています。大日本図書も資料で測定項目を1項目ごとにわかりやすく載せています。

また、生涯スポーツについてどのように記載してあるかを調べたところ、大日本図書が「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」と葛飾区スポーツ振興計画の基本理念と同じ言葉を使って、スポーツに親しむことの大切さが記述してありました。

性に関する内容のところでは、前回と比べると各社とも過激な表現になっているところは特に見られませんでした。教科書の作り方については、大日本図書だけがA B判とサイズが大きく、全体が明るい色彩で、イラストや写真がきれいにデザインされており、ビジュアルな感じを受けました。また、課題の理解や学習内容の活用がしやすく構成されているように思います。

このようなことから、私は大日本図書を推薦します。

○**委員長** 秋本委員。

○**秋本委員** 大日本図書は、図表や絵がきれいで、見やすく、バランスよく文字が入れてあり、生徒が学習しやすいのではないかと思います。また、体の成熟に関する扱いにも気を配っていると思います。巻頭にスポーツ選手等の写真を大きく豊富に使っていて、生徒が興味・関心を持てるように工夫しているのではないかと思います。

以上の点から、大日本図書を推薦いたします。

○**委員長** 松本委員。

○**松本委員** 保健体育の授業は、実技が多く、教科書を使った座学が少ない教科です。そのため、限られた時間の中で学習の流れがわかりやすい授業をすることが求められます。

その視点で検討した結果、東京書籍は、見開き2ページ1単位時間の構成で、「今日の学習」「やってみよう」で導入がしっかりでき、本文や資料がわかりやすく、「考えてみよう」「やってみよう」では活用の問題が提示されていて、学習の流れがよいと思います。各章末に「確認の問題」と学習のまとめが掲載され、生徒自身で確認でき、定着を図ることができる点、わかりやすい図や写真、グラフ、表が豊富に使用されている点、さまざまな学習方法を示している点もよいと思います。

以上のことから、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 面田委員。

○面田委員 大日本図書はA B判なので、学習に役立つ図や写真、グラフ、表などの資料が豊富に掲載されていると思います。また、生徒が興味や関心を持って学習に取り組めるよう、豊富でインパクトのある写真を口絵に示している点もいいと思います。どの章も、「きょうの学習課題」「考えよう」「本文」「学習を生かして」の基本的な構成であり、学習の課題と流れが明確でわかりやすく、生徒が主体的に学習に取り組める工夫があります。また、「ミニ知識」「リンク」「トピックス」などは、学習内容を深め、学習意欲の向上を図れる工夫があります。

以上の点から、大日本図書を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 大日本図書は、A B判でやや大き目になっており、その分見やすくなっていると思います。また、全体が明るい色彩で、イラストや写真が効果的に使われており、イメージしやすくなっています。さらに、課題の理解や学習内容の活用がしやすい構成になっていると思います。

したがって、私は大日本図書を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長の方から申し上げます。

各社、総ページがほぼ同じで、それぞれ体育分野、保健分野の二つに分かれて構成されています。東京書籍は、体育分野 38 ページに対し、保健分野 120 ページの 3 倍の割合になっていますが、他の 3 社は体育分野 1 に対して保健分野 2 の割合のページ数になっています。中学校における保健分野は、教えることが非常に多く、また重要であるので、この割合のほうがよいと思います。内容としては、見開き 2 ページを 1 単位時間で学習することを基本とした紙面構成になっていて、「考えてみよう」「生かそう」「自己評価問題」と知識の習得と活用ができるように工夫されています。また、生徒を取り巻く近年の課題を重視している犯罪被害の防止や、医薬品の知識を確実に習得するとともに、心の健康についても重視しています。

学習の工夫につながるキーワード、学習のつながりを示す他教科マーク、他のページを示すリンクマーク、資料の読解を支援するポイントマークなど、わかりやすく、かつ、使いやすく工夫されています。

以上の点から、東京書籍を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、大日本図書が 4 人、東京書籍が 2 人となり、大日本図書がよいとする意見が多数となりましたので、中学校保健体育は大日本図書を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校保健体育は大日本図書を採択することに決定い

たします。

それでは、中学校技術・家庭（技術分野）の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、技術分野の目標は、「ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる」とあります。各社の教科書を1ページごとにめくって比較していきますと、ものづくりなどはほとんど変わらないように思います。近年、情報化社会の進展の中で、ネット社会とどのように向き合っていくかが大きな問題になっています。そこで情報モラルについて調べてみました。

開隆堂出版は、「情報モラルと知的財産」のところで、6ページにわたって人権、プライバシー保護、個人情報保護、著作権の保護、コンピュータウイルス、不正侵入などが記述されています。

東京書籍は、「情報モラルを身につけて情報を安全に利用しよう」のところで、4ページにわたってユーザーIDとパスワード、チェーンメール、コンピュータウイルス、ネットショッピングとネットオークションなどに触れられています。

教育図書は、「情報モラル」のところで2ページを使って取り上げています。

また、教科書のつくり方としては、東京書籍は、「技術の扉」でより深く学べるようにしたり、伝統文化のマークをつけて、日本の伝統を意識しており、イラストや写真がきれいにデザインされています。

開隆堂出版は、「ウォッチング」で学習内容を深め、「豆知識」でちょっと知っておきたいことやおもしろい内容を紹介するなど、いろいろなマークでわかりやすく示されています。

教育図書は、すっきりとした紙面構成で、マークもそれほどなく、昔の教科書を思い起こさせます。

いろいろと迷いましたが、わずかの差で開隆堂出版を推薦します。

○委員長 面田委員。

○面田委員 情報教育と環境教育の扱いを視点として見てみました。

開隆堂出版は、本文の随所に技術と環境とのかかわりについて書かれて、循環型社会について考えながら学べるようになっております。また、環境マークをつけて環境についての意識を高められるようにしてあります。さらに、情報モラルや情報セキュリティについても6ページあり、わかりやすく整理されています。全体を通して、イラスト、図、写真が多く、生徒の目線での写真もあるので、内容の理解に役立ちます。「技術の歴史」は参考資料になると思います。

そのような点で、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 学習指導要領では、実践的・体験的な学習活動を重視することが示されています。このような観点から言いますと、イラストなどが見やすく、資料として適切なものであってほしいと願っています。本区では、パソコン学習においては小学校から実施しており、中学校では本格的なものになっています。そこで大事なことは、パソコン等を使う場合のモラルであると考えます。

開隆堂出版においては、情報教育の技術とそれに伴う情報モラルについてページ数を6ページとって扱っており、内容も適切になっております。

したがって、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 実践的・体験的な学習活動を通して生活をよりよくしようとする意欲、能力を引き出すという観点で調べてみました。

開隆堂出版は、ものづくりに関する興味・関心を高める内容になっています。また、基礎的・基本的な学習の定着のために、わかりやすい図や絵を用いて説明や課題を取り上げています。キュウリの栽培を通してグリーンカーテンに触れ、その効果についても取り上げています。

以上の点から、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 技術科の授業は、実習が多く、座学が少ない教科であり、授業時数が少ない中で、知識をわかりやすく、実習作業を手際よく解説し、主体的に学習に取り組めることが大切です。開隆堂出版は、実習例が多く掲載されており、指導者が生徒や本区の学校の実態に合わせて選択して取り組むことができ、図や写真も多く、視覚的で理解しやすい工夫がされています。また、環境教育、情報教育の内容が充実していて、「葛飾区教育振興ビジョン」の推進に活用しやすいと考えます。さらに、巻頭資料のガイダンスと各ページにある「豆知識」が学習への関心意欲を高めるのに効果的だと考えます。

以上のことから、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長の方から申し上げます。

開隆堂出版の特徴として、学習の目標、振り返りなど、マークを利用して内容のねらいを明確にしていたり、題材の最後に学んだことを振り返り、生活に生かすよう、学習のまとめが設定されていたりします。また、さまざまな一流技術や企業の紹介を通し、職業観や勤労観を育成しようとしていたり、小学校で学習したコンピュータの基本操作を巻末資料として掲載し、小学校間での学習進度差を補う工夫がされていたりします。原子力発電に関する記述として、石油にかわるエネルギー資源の区分図を示し、発電別のエネルギー変換効率やコスト、CO₂

排出量などを図表やグラフで比較してわかりやすくしてあります。

以上の理由により、私は開隆堂出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、全員が開隆堂出版とのことですので、中学校技術・家庭の技術分野は開隆堂出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校技術・家庭（技術分野）は開隆堂出版を採択することに決定いたします。

続きまして、中学校技術・家庭（家庭分野）の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、家庭分野の目標は、「衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる」とあります。家族に関する記述では、家族の大切さや家庭の意義について各社とも適切に記述されていますが、開隆堂出版は、「家族関係の変化」というところで、「両親の離婚、家族の死によって家族と別れることもあります。親の病気などで家族との生活ができなくなったり、家族と別れて親戚の人と暮らしたり」といった記述がありますが、前向きな生活を送っていこうという気持ちをそぐような感じで、そうした記述をする必要があるのか疑問に思いました。

また、開隆堂出版は、「男女共同参画社会」のところで「男女の性別的な違いではなく、男は仕事、女は家の仕事というような社会的・文化的な男女の性差のことを『ジェンダー』と言います。世界では、国連を中心に、ジェンダーを見直す取り組みが行われています」という記述があり、ジェンダーフリーを推進するような記述が気になりました。教科書の作り方では、東京書籍は、伝統・文化のマークや「生活アイ」で生活に直結している内容や「一口メモ」のちょっと面白い豆知識の紹介など、理解しやすいような工夫がなされています。

そのようなことから、私は東京書籍を推薦します。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 東京書籍は、食材ごとに調理実習例が豊富で、食にかかわる内容に重点が置かれていて、食生活を重視していること、家族とのかかわりや家庭のあり方を深く感じ取って考えさせるようにしている点、社会の一員としてどうあるべきかという点、家庭の中での仕事や役割分担についても意識させていく内容になっています。

このような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○**松本委員** 座学と実習のバランスを考慮しながら、地域や学校、生徒の実態に応じて実習が行われるよう、実習例を豊富に取り上げている点、小学校家庭科の学習との接続を踏まえている点、生徒の興味・関心を高める写真やイラストが掲載されている点において、東京書籍と開隆堂出版がよいと思いました。その中で、開隆堂出版は、人権、男女平等、ノーマライゼーションなど、共生の視点を重視している点や作業の安全や衛生面、防災への対策を喚起している点、ページ下にある「豆知識」が載っている点などが使いやすいと考えます。

以上の理由から、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○**委員長** 面田委員。

○**面田委員** 衣・食・住の学びから、家族のあり方、かかわり方を見つめ直し、自立への基礎・基本となる技能の定着がどのように図られているかを見ました。

東京書籍は、四つの分野とも導入の段階で学ぶことを明確にしています。小単元では、その単元の具体的な目標と学習の到達状況を確認するチェックがあり、学習の見通しを持たせ、基礎・基本の知識・技術を習得できます。また、分野の終わりには「学習のまとめ」があり、「自己評価」「生活に生かそう」という課題があり、実習や生活実践などに必要な基礎的な技能を基礎技能としてまとめたわかりやすい図や写真があるのは実習に参考になると思います。さらに、郷土料理等、地域に関心を持たせる内容が取り上げられており、伝統文化に関する内容に伝統文化マークをつけています。伝統野菜や伝承遊びのコラムなども意欲・関心を持って読むことができると思います。

このような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○**委員長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 家庭分野は、家庭という最も身近なことについて実践的に学習するわけですが、この身近なことが往々にして学習できていないということがあります。

教育図書は、学習の初めに学習のポイントを示してあり、生活の中での疑問点から問題解決をしていくための道筋をQ&Aの方式で書かれており、理解しやすくなっています。

以上の点から、私は教育図書を推薦いたします。

○**委員長** それでは、委員長から申し上げます。

開隆堂出版は、生きる力の育成を踏まえ、家庭生活に関する基礎的・基本的な知識や技能の習得を基本方針として編集されています。また、生徒が目当てを持って授業に臨めるようにしています。構成は、学習の目標、導入課題、基礎学習、学習の展開、発展、ふり取り・まとめと流れができ、工夫されています。実習をわかりやすくするために、調理実習例ででき上がりの写真が大きく示され、食品の切り方や盛りつけ方についてもわかるように工夫されています。生徒の学習意欲を高めるための工夫としては、学習内容の初めに「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」などの課題があり、学習内容の動機づけができます。発展的な学習の

内容は、生徒が関心を持てるように写真やイラストを活用してわかりやすくしています。

以上の点から、開隆堂出版を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が3人、開隆堂出版が2人、教育図書が1人となり、東京書籍がよいとする意見が多数となりましたので、中学校技術・家庭の家庭分野は東京書籍を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校技術・家庭（家庭分野）は東京書籍を採択することに決定いたします。

それでは、中学校英語の審議に入ります。

ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、外国語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」とあります。また、教材選定の留意点として、世界の人々及び日本人の日常生活、風俗、習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化を持たせて取り上げるものとし、具体的には、多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い、豊かな心情を育てるのに役立つこと、外国や我が国の生活や文化について理解を深めること、国際社会を生きる日本人としての自覚を高めることなどが挙げられております。

そこで、題材について比較してみますと、学校図書は、『マザー・テレサ』『アンネの日記』『スティーヴィー・ワンダー』などの伝記物が多く、世界遺産、3Rの環境問題、ユニバーサルデザインなど、内容のよいものが目につきます。さらに、下町の文化、書き初め、おせち料理、相撲、柔道、日本の漫画、アニメ、文化遺産など、日本に関連した題材は身近なものから最先端まで幅広く取り上げています。英語の歌は音と一緒に記憶されるという点において、中学生時代に習った歌は一生涯頭の中に残るといった効果があることから重視すべきであると考えております。

その点では、学校図書、三省堂、教育出版は楽譜がついて実際に歌えるようになっています。レイアウトの面では、学校図書は記号が適切に使われ、イラストの活用や色使いが落ちついていて、各ページの本文がわかりやすくなっています。

以上の点から、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 面田委員。

○面田委員 小学校外国語活動との円滑な接続が図れる工夫があるか、生徒が意欲・関心を持

って学習に取り組む工夫があるかという視点で見ました。

学校図書は、1年巻頭4ページ、「プレッスン」で、自己紹介、あいさつ、身につけるものなど、小学校外国語活動でなれ親しんできた活動が取り上げられています。一般動詞から導入し、日常の会話に近いコミュニケーション活動が英語でできることにより、学習への動機づけや生徒の興味・関心を高めることができ、小学校外国語活動との円滑な接続ができると考えました。また、レッスン末に設けられたレビューにおいて、レッスンで学習した言語材料をすぐに復習・確認するコーナーとして活用できます。また、英語の歌「チェック・イット・アウト」が単元の扉に記載されており、丁寧で工夫されていると感じました。

以上の理由から、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 英語という教科は、中学校へ入り、好きにもなる、嫌いにもなる教科であり、教科書を選ぶ観点として、英語嫌いをつくらないようにするために、1年生の最初は易しく取り組みやすいものがよいと考えました。また、高校入試において英語は大事な教科でもあり、入試前の3年生の内容も選ぶ上で重要な観点であると思いました。

教育出版は、1年の最初において小学校外国語活動の復習があり、楽しく振り返ることができると同時に、新たな気持ちで中学校の英語に取り組めそうだと思います。さらに、各単元の最初のページに学習する項目が書いてあり、生徒が目的を持って学習できると思いました。2年では、「英語で日記を書いてみよう」やマッピングを取り入れて、英語を書くコツが掲載されていました。また、3年では、説明文の読み方として、「Reading Tips」が掲載されており、高校入試に対応する学力を身につけるためには適した内容であると思いました。また、新出語数は各社の平均が1,451に対して、教育出版が一番多く1,626を扱っており、高校入試のことを考えても適しているのではないかと考えました。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 英語については、長い間、「日本人は文法はよくできるが、話すことは苦手である」と言われています。これを解消するというのが、小学校外国語活動が導入された理由の一つであると考えています。そして、中学校へ進学する際に大事なことは、小学校における外国語活動がスムーズに中学校の英語へと接続できることではないかと思います。そのことを踏まえているのが学校図書で、一般動詞の「like」や「have」から学習するという点、また、1年生の巻頭では、自分の身の回りに関する英語が紹介されている点に注目いたしました。

したがって、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 松本委員。

○松本委員 小学校の外国語活動から教科としての中学校英語へ円滑に接続する工夫をどのよ

うにされているかを調べました。

学校図書は、他社と比べて小学校でなれ親しんできた一般動詞の「like」や「have」から導入しており、他社がbe動詞から導入しているのに比べ、スムーズな接続ができると思います。また、小学校の外国語活動でなれ親しんできた活動や「聞く・話す」活動から導入するなど、教科としての英語への不安感を和らげる工夫があるのもよいと思います。そして、題材が身の回りのことから日本の伝統文化や国際理解、エネルギー問題など、発達段階を考えて適切に選定されていて、興味を持って学習する工夫があります。写真、イラストの色使いがきれいで、全体的にすっきりしていて見やすく感じます。まとめや復習についても工夫されていて、家庭学習がしやすいと思います。

以上のことから、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長のほうから申し上げます。

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」、これらのコミュニケーション能力を総合的に育成するという視点や、小学校外国語活動との円滑な接続のための工夫がされているかなどについて見てみました。

学校図書は、小学校外国語活動との円滑な接続としては、小学校でなれ親しんだ自己紹介、あいさつ、身につけるものなどを1年の巻頭に取り入れ、スムーズに中学校の英語へ入れるよう工夫されております。一般動詞の導入としては、一人称と二人称を先に扱い、三人称については軌道に乗ってから扱うようにしております。基礎的・基本的な知識や技能を習得するための言語活動と、それらを活用し表現する言語活動の二つを設ける工夫が見られました。また、繰り返し指導による学習内容の一層の定着が図られております。

以上の理由から、私は学校図書を推薦いたします。

いろいろとご意見が出されましたが、学校図書が5人、教育出版が1人となり、学校図書がよいとする意見が多数となりましたので、中学校英語は学校図書を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、中学校英語は学校図書を採択することに決定いたします。

以上で、15種目の平成24年度使用中学校教科用図書が採択されました。

ここで、各教科の種目順に採択する発行者名を確認いたします。

指導室長、お願いいたします。

○指導室長 それでは、採択発行者を確認させていただきたいと思います。

国語・教育出版、書写・光村図書出版、地理・東京書籍、歴史・教育出版、公民・東京書籍、地図・帝国書院、数学・東京書籍、理科・啓林館、音楽（一般）・教育芸術社、音楽（器楽）・

教育芸術社、美術・日本文教出版、保健体育・大日本図書、技術・開隆堂出版、家庭・東京書籍、英語・学校図書、以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

以上のとおりであります。採択理由一覧表については、これまでの審議を踏まえ、事務局において作成することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、事務局において作成をお願いいたします。

以上で、平成24年度使用中学校教科用図書の採択審議を終了いたします。

続きまして、平成24年度使用小学校教科用図書の審議に入ります。

指導室長。

○指導室長 小学校教科用図書につきましては、昨年度に採択替えが行われましたが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第14条の規定に基づいて、4年間は同一の教科用図書を使用することとし、毎年度採択することとなっております。したがって、別紙「平成24年度使用教科用図書(検定教科書)採択一覧表(小学校用)」のとおり、現在使用している教科用図書を採択するものでございます。

以上でございます。

○委員長 何かご意見ございましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 法令により4年間同じ教科書を使用することになっているわけですから、小学校の教科用図書は一覧表にある教科書会社のものを採択することではないでしょうか。

○委員長 ほかにご意見ございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 ないようでありますので、お諮りいたします。

別紙「平成24年度使用教科用図書(検定教科書)採択一覧表(小学校用)」につきましては、一覧表に記載されている会社の教科用図書を採択することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり、「平成24年度使用教科用図書(検定教科書・小学校用)」を採択することに決定いたしました。

次に、平成24年度使用附則第9条教科用図書の採択の審議に入ります。

「平成24年度使用教科用図書(特別支援学級)採択一覧表(小学校用)」及び「平成24年度使用教科用図書(特別支援学級)採択一覧表(中学校用)」についてご意見はございませんか。

遠藤委員。

○遠藤委員 附則第9条教科用図書は、前回の教育委員会でも確認いたしましたが、小学校及

び中学校の特別支援学級において、各学校が調査・研究し、校長が責任を持って報告したものとことでもあります。児童・生徒の障害の種類やそれぞれの能力、特性に最もふさわしい図書を個に応じて使用することになるわけですから、これでよいと思います。

○委員長 ほかにご意見はございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それでは、お諮りいたします。

「平成 24 年度使用教科用図書（特別支援学級・小学校用）」及び「平成 24 年度使用教科用図書（特別支援学級・中学校用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり、「平成 24 年度使用教科用図書（特別支援学級・小学校用）及び平成 24 年度使用教科用図書（特別支援学級・中学校用）」を採択することと決定いたしました。

以上で、平成 24 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきましては、すべての審議が終了いたしました。

次に、今回の議案についての公表方法について事務局から説明をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 今回の議案にかかわる審議につきましては、従前から、教科用図書の採択に関する検討委員会の報告書、会議録などは、公正確保の観点から、東京都教育委員会に報告する 8 月 31 日まで時限秘としております。そこで、教科用図書公表文書一覧表にございます文書につきましては、東京都教育委員会報告後、また、事務処理が終了いたしましたところで、9 月 1 日以降、教育委員会及び区政情報コーナーにおいて公表したいと考えております。ただし、採択結果につきましては、区民の関心も高いことから、教育委員会終了後、公表一覧が作成され次第公表したいと思います。

なお、教育委員会の会議録につきましては、テープ起こしのため、多少お時間をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長 ただいま指導室長から文書の公表につきまして詳細に説明がございました。この取り扱いでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、よろしくお願ひいたします。

これで議案は終了といたします。

続いて、報告事項等に入ります。

1 『あだたら高原学園』の休園について」、お願いいたします。

施設課長。

○施設課長 それでは、報告事項等1 『あだたら高原学園』の休園について」、ご説明いたします。

あだたら高原学園は、本区中学生の移動教室のために設置された施設でございますが、移動教室のない時期につきましては、施設の有効活用を目的に、区民等にも宿泊施設として開放してまいりました。しかし、ことし3月の東日本大震災による福島原子力発電所の放射能漏れが発生したことで、現地の放射線量が本区よりも高く、保護者の不安が払拭されていないことなどから、今年度、あだたら高原学園での移動教室を取りやめることとなりました。

一方、学園は、6月5日から飯舘村の方々の避難所として利用されてきましたが、全員が仮設住宅などの2次避難先へ移動したため、7月末をもちまして避難所としての役割を終了いたしました。

教育委員会では、当施設について今後の運営について検討してまいりましたが、本来の目的である中学校の移動教室がなくなったことにより、9月以降、今年度の当施設は休園したいと考えております。

なお、休園期間中の学園の対応は以下のとおりとする予定でございます。(1) 受付業務。9月以降、今年度の宿泊等の予約は受け付けません。学園ホームページ等で休園の周知を行う。(2) 施設管理業務。施設を維持保全するため、最低限の設備点検などを行う。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまのご説明に対して何かご意見、ご質問等はございませんか。

面田委員。

○面田委員 ことしは移動教室に関しましてやむを得ないと。そしてまた、高原学園のことに関しましてやむを得ないのだなど、そのように認識しております。それで、今説明がございましたが、来年のこと等もあると思うのですけれども、検討委員会ができていますと伺っておりますので、検討委員会のほうで、移動教室につきましてできるだけ早く検討していただければと、そのように思います。要望でございます。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今、委員ご指摘のように、今月に入りまして、中学校の校長会、副校長会、代表の方、それから事務局のほうで、仮称でありますけれども、中学校移動教室検討委員会というのを立ち上げさせていただきました。次年度、またそれ以降も、中2の移動教室についてさまざまな観点から、また、情勢等もにらみながら、また、全体の動向等も把握しながら、よりいい形で実施できるような方向で検討を進めていきたいと考えています。

○面田委員 そうですね。よろしくお願いします。

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、この件は了承とさせていただきます。

ここで、教育委員の方から何かございませんか。

面田委員。

○面田委員 一つよろしいですか。

小学校のほうの臨海学校も終わったのかなというふうに思うのですが、何かそれに絡む情報がありましたら。

○委員長 指導室長。

○指導室長 先週末をもちまして、無事、全校終了いたしました。参加児童が約3,000人です。体調不良等、また放射能等の不安ということで欠席が130人程度ということでございました。大きな事故もなく、また、毎年後半はクラゲで悩まされるのですが、それもことしはあまりなかったというふうな報告を受けております。

以上です。

○面田委員 よかったですね。ありがとうございました。

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、「その他」に入ります。

庶務課長、一括してお願いいたします。

○庶務課長 それでは、初めに、放射線量の測定について口頭にてご報告させていただきます。

現在、区では、区民の不安解消を図るため、小・中学校、幼稚園、保育園、それから公園・児童遊園の砂場の放射線量の測定を行ってございます。また、児童・生徒が多く利用すること、屋外のスポーツ施設の放射線量の測定を行ってございます。この測定につきましては、施設を所管する部署が行うということになってございますので、区立の小・中学校、幼稚園、それから教育委員会が所管するスポーツ施設につきましては、教育委員会事務局のほうで測定チームを編成し、現在測定を行っているところでございます。測定につきましては、8月17日までに終わるということになってございます。8月11日には、既に行った測定結果を中間発表する予定になってございます。なお、砂場につきましては、直接肌に触れるということ、それから、誤って口に入ってしまうというおそれがございますので、安全対策として、一定以上の放射線量が計測された砂場につきましては、砂の入れかえ等の対策を行うことを現在検討してございます。本件につきましては、測定が終了した時点で改めて本委員会にご報告をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

次に、「資料配付」でございます。今回は、「9月行事予定表」、それから「体育指導委員だより」の60号をお手元にお配りしてございます。

次に、「出席依頼」でございます。今回はございません。

次回の教育委員会でございます。9月6日火曜日、午前10時からでございます。よろしくお願いたします。

「その他」は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

何かございますか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それでは、これをもちまして教育委員会第8回定例会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会時刻 12時40分